

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅲ-2	事業名	子どもの安全安心対策事業			
所管	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導	課

【事業内容】

小学校区ごとにPTAや地域人材からなる子どもの安全見まもり隊を組織し、登下校時の見守り活動を行う。大阪府警察OBを学校安全指導員として採用し、教職員を対象とする不審者侵入時の対応訓練、学校への巡回指導等を実施する。

総コスト(千円)	(平成23年度決算額)	12,807千円	(平成24年度予算額)	13,097千円
----------	-------------	----------	-------------	----------

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】

<審査員>						<検討委員(参考意見)>							
今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	1	3	2	今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	1	2	
		現状維持	/		6	2			現状維持	/		1	1
		縮小	/	3					縮小	/			
		廃止	/						廃止	/			
			ゼロ	縮小	現状維持	拡大				ゼロ	縮小	現状維持	拡大
公金投入の方向性(人件費含む)						公金投入の方向性(人件費含む)							

【改善策について】(複数回答あり)

		審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	7	2
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	3	0
	サービス受給者の自己負担について見直しが必要	0	0
	市以外からの財源の確保を図るべき	1	0
	担い手のあり方について見直しが必要	4	1
	その他	0	2
	(「その他」の具体的記述) ・見まもり隊のボランティア拡大(増員)策を改善、補強していくべき。 ・小学生の保護者としては感謝すべき事業です。現状維持を望みます。		

【具体的な改善策提案】

- ・安全安心の問題は、市民ニーズの関心事であるので個別案件としてだけでなく、他の事業との連携対策を取る事業であるべきである。
- ・基本はボランティアであるが、担当部署としての事業拡充へ向けての熱意が欲しい。ボランティアの概念が判るような行政を目指して欲しい。
- ・見まもり隊について小学校地域や保護者など協力体制が必要。有効なPR活動をお願いする。
- ・社会需要に対して人手が足りていないのであれば、コストをかけてサービス供給する事も必要ではないか。
- ・これを基本(公金投入+拡充)にして改善策を考える。
- ・長期的な視点がない。高齢者である団塊世代が寿命をむかえる20年後にボランティアでの維持は不可能。
- ・道路安全性は別に検討すべき。
- ・プロの警官OBを雇用するなら、ボランティアの人々との明確な差別をつけ有償である事を全ての人々に納得させ、より活用すべきだと思う。
- ・見まもり隊の増加の件については、市の広報等で募集をかければ人は増加すると思うので、広報等を上手く利用して欲しい。
- ・安全指導員の活動実績は件数、効果が判るようにして欲しい。また、PRもホームページで公開すべき。OBとか何か天下りの感じがする。

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅲ-2	事業名	子どもの安全安心対策事業				
所管	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導	課	

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【具体的な改善策提案】

- ・子ども達の安全は地域全体で(大人がみんなで見守る必要があると常々思っている)ので、この事業に対しては全く賛成だし、ずっと続いてほしい。現在、見守っていただいているボランティアの方々の大半は、お仕事を引退された高齢者だと思うが、これは順送りでもいいと思う。拡大にチェックしたのは、夏場の飲み物代くらい一定額出してもいいのではと思ったから。
- ・見まもり隊は続けるべき。安全指導は警官であれば可能でも教師では無理。カメラ設置、スプレー、避難訓練の方が合理的。

【廃止の理由】(複数回答あり)

審査員

検討委員

行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)

0

0

時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない

0

0

事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい

0

0

他の事業との結合・再編を検討すべき

0

0

サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)

0

0

効果がない(低い)

0

0

その他

0

0

(「その他」の具体的記述)

【その他意見等】(自由記入欄に記載された意見)

- ・国の方向の中でも地域の姿をもう一度仕組み作りしようとなっているので、地域全体の課題として、もう一度検討して欲しい。
- ・通学路の安全確保は人員だけでなく、ガードレール設置もして欲しい。街づくりにも通じる。